



日本でいちばん暑かった日はいつ、気温は何度なの

やまがた 山形で40.8の最高気温

1933年7月25日、山形市で、40.8の最高気温を記録しました。このときは台風が日本海を進んだときでした。

フェーン現象が起きた

湿った空気が山をこえてふき下りるときに、風下側で気温が上がり、空気が乾燥します。

これをフェーンといい、この現象をフェーン現象といいます。

発達した低気圧や台風が日本海に入ると、太平洋側から湿った空気が、日本の背骨にあたる山脈をこえ、日本海側にふき下ります。このとき、高温で乾燥した風になります。山形県や北陸地方では、フェーン現象がよく起きることで知られています。

山形市で、40.8の最高気温を記録したのは、フェーン現象の影響があったからです。フェーン現象が起きたときには、大火事や雪どけによる洪水、なだれなどが起きることがあります。

フェーン病になることもある

フェーン現象により、気温・湿度・風などが急激に変化することによって、フェーン病という病気になることがあります。気分が落ち着かずいらいらしたり、欲求不満になったり、集中力がなくなる、といったような状態になります。（監修・村山 貢司）

